

令和元年度 県立川崎高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止)	法令遵守意識の向上により公務外非行の不祥事を防止する。また、若手職員の育成にも留意する。	県職員が起こした公務外非行の事案を、職員全体で共有し、法令遵守意識が高まるように取り組んだ。また、ベテランであればわかっているであろうことも丁寧に扱い、若手職員の育成につなげた。
わいせつ、セクハラ行為の防止	公務員倫理意識を徹底し、わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	わいせつ、セクハラ事案について全体で共有するとともに、わいせつやセクハラととられない行動について考えることにより未然防止につなげることができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	外国につながる生徒の進路関係や、発達障害等に関する人権研修会を実施し、様々な生徒や職員への人権に配慮する意識を高めた。体罰等不適切な指導防止に向けて引き続き全職員で意識を高める必要がある。
成績処理及び履修指導に係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	成績処理については、担当グループによりマニュアルを見直し、適切な処理に努めた。全職員でさらに意識を高め、声をかけあって事故防止につなげたい。履修指導については、卒業までを見越した指導を全職員が適切に行えるよう意識を引き続き高める必要がある。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	マニュアルの見直しを含め、適切に書類作成、取扱いを行った。さらなる事故防止へ向けて、担当者間の連携をさらに密にすることで全体への指示を徹底していく必要がある。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	携帯・電子メール・USBメモリの適正使用を含め、適切な情報セキュリティ対策を講じ、個人情報流出を未然に防止する。	個人情報の収集は県からの指示もあり、取扱いの注意が徹底できた。USBメモリの管理を強化し、適切な取扱いができた。答案返却期間のシュレッターの使用禁止など、誤廃棄防止に取り組んだ。
適切な県民対応・保護者対応	電話での対応を始め、適切で正確に対応する策について講じ、事故を未然に防ぐ。	酒酔い・酒気帯び運転をしないことには、日ごろの注意喚起により意識を高めることができた。交通事故については、公務外においても起こさないよう交通法規の遵守意識を高めていきたい。
会計業務等の適切執行及び業務執行体制の確保	相互チェック体制により、適正な経理処理等を行う。	会計においては複数によるチェック体制が整い、適切に執行できた。業務執行においてはグループ業務の見直しにより業務分担を明確にし、業務執行体制を整えた。
入学者選抜に係る事故防止	マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	マニュアルに基づいた業務を心がけ、事故防止に努め実現できた。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び例話2年度に取り組むべき課題

月1回の事故防止会議及び不祥事防止研修を行う取組みをした。始業時の職員打ち合わせも活用し、教職員間での課題の共有と意識の向上が実現できた。

令和2年度へ向けては

- (1) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止、体罰、不適切指導の防止には重点的に取り組む。
- (2) 不祥事防止研修は始業時の打ち合わせ時間などにもタイムリーに実施していく。
- (3) 職員間のコミュニケーションを密にして、情報共有を図っていく。